



## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社MTG 上場取引所 東  
 コード番号 7806 URL <https://www.mtg.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松下 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 吉高 信 TEL 052-307-7890  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高    |       | 営業利益  |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |   |
|---------------|--------|-------|-------|---|-------|---|----------------------|---|
|               | 百万円    | %     | 百万円   | % | 百万円   | % | 百万円                  | % |
| 2021年9月期第3四半期 | 31,734 | 27.5  | 3,675 | — | 4,079 | — | 3,754                | — |
| 2020年9月期第3四半期 | 24,893 | △10.2 | △940  | — | △625  | — | 210                  | — |

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 3,827百万円 (972.4%) 2020年9月期第3四半期 356百万円 (—%)

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2021年9月期第3四半期 | 94.96           | 94.17                      |
| 2020年9月期第3四半期 | 5.30            | —                          |

(注) 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

|               | 総資産    | 純資産    | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
|               | 百万円    | 百万円    | %      |
| 2021年9月期第3四半期 | 44,311 | 37,174 | 83.6   |
| 2020年9月期      | 41,622 | 33,469 | 80.1   |

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 37,042百万円 2020年9月期 33,334百万円

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2020年9月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2021年9月期     | —      | 0.00   | —      | —    | —    |
| 2021年9月期（予想） | —      | —      | —      | —    | —    |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2021年9月期の配当につきましては、現時点で未定です。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高    |      | 営業利益  |       | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|------|---------------------|------|----------------|
|    | 百万円    | %    | 百万円   | %     | 百万円   | %    | 百万円                 | %    | 円 銭            |
| 通期 | 42,000 | 20.5 | 3,000 | 146.1 | 3,300 | 97.3 | 2,900               | 90.1 | 73.33          |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー  
除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

|            |             |            |             |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年9月期3Q | 39,741,908株 | 2020年9月期   | 39,733,028株 |
| 2021年9月期3Q | 301,282株    | 2020年9月期   | 190,116株    |
| 2021年9月期3Q | 39,537,614株 | 2020年9月期3Q | 39,718,385株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 5  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 5  |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 6  |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 6  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 8  |
| 四半期連結損益計算書                         |    |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 8  |
| 四半期連結包括利益計算書                       |    |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 9  |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....    | 10 |
| (会計上の見積りの変更) .....                 | 10 |
| (追加情報) .....                       | 10 |
| (セグメント情報等) .....                   | 11 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、2021年4月に都市部を中心に3度目の緊急事態宣言が発令される等、経済活動の停滞や個人消費の悪化等厳しい状況が続いております。新型コロナウイルスワクチンの接種拡大による経済回復が期待されるものの、新規感染者数は増減を繰り返し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、世界中の人々の人生をより美しく、より健康的に輝かせるためにHEALTH、BEAUTY、HYGIENE領域においてブランド及び商品の開発に取り組んでまいりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①ダイレクトマーケティング事業

主な事業内容は、当社及び国内他社ECサイト、新聞を通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売・カタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は14,014百万円（前年同期比34.5%増）、経常利益は4,728百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

全国主要都市の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響を受けた在宅率の上昇から、セッション数、コンバージョン率ともに好調に推移いたしました。

自宅美容需要は継続して高い傾向にあり、ReFaブランドではローラーシリーズ、ReFa FINE BUBBLE Sの販売が好調に推移いたしました。また、ReFa BEAUTECH DRYER、ReFa BEAUTECH STRAIGHT IRONをはじめとしたヘアケア商品の販売も堅調で、ReFa BEAUTECH CURL IRON、ReFa LOCK OILが楽天市場のランキングでカテゴリー1位を獲得いたしました。

SIXPADにおいても継続した自宅トレーニングのニーズにより、新商品のSIXPAD Foot Fit Liteを中心に大きく販売台数を伸ばしているほか、2021年6月14日に発売となったSIXPAD Powersuit Lite AbsがMTG LIFEPLAN<sup>※1</sup>の反響もあり好調に推移いたしました。

※1：月々数百円からのお求めやすい定額料金でMTGブランドの最新商品をご購入頂ける『月々定額』、常に最新の商品を買換利用しやすくする『下取りサービス』、ずっと安心して商品をご利用頂くための『きちんと保証』の3つのサービスからなる新しい購入プラン。

#### ②プロフェッショナル事業

主な事業内容は、美容室運営事業者、エステティックサロン運営事業者への卸売及び取次販売、飲食店、医療関連や施設への卸売販売、レンタル事業並びにショッピングセンター等での一般消費者への直接販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,795百万円（前年同期比29.1%増）、経常利益は1,544百万円（前年同期比138.0%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が長期化する中、サロンでの体験を起点とした020サロンプラットフォームサービスB happyを開設し、2021年5月20日よりサービスを開始いたしました。B happyではプラットフォーム上に設けた自店舗専用のオンラインショップより、店舗での接客で繋がったお客様に当社製商品をいつでもお買い求め頂けるサービスの提供が可能となり、美容室、エステティックサロンを中心に数多くの加盟店申し込みを頂き、立ち上がりにおいて加盟店舗数は堅調に推移いたしました。

また、自宅でわずか10分の短時間・高効率のハイブリッドトレーニングが受けられるEMSオンラインジムSIXPAD HOME GYMについても、ショッピングセンター等における催事販売が堅調に推移いたしました。

#### ③リテールストア事業

主な事業内容は、量販店・専門店・百貨店・免税店・ショッピングセンターを中心とした運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,622百万円（前年同期比21.5%増）、経常利益は969百万円（前年同期は436百万円の経常損失）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期化により、インバウンド需要の低迷や外出自粛、全国主要都市における緊急事態宣言等、個人の消費マインドの冷え込みが続く状況ではあったものの、市場における自宅美容の需要は高くReFa BEAUTECHシリーズのヘアケアアイテムやReFa FINE BUBBLE S等を主軸に店舗売上は好調に推移いたしました。また、各小売店が運営するECサイトの強化により、オンラインとオフラインの融合が促進され、

店舗の売上とともにEC売上も好調に推移いたしました。SIXPADブランドにおいては、新商品のSIXPAD Foot Fit 2やSIXPAD Powersuit Lite Abs等の新商品の売上が発売当初より堅調に推移いたしました。

量販店市場においては、家電量販店ECサイトにおける掲出強化を継続して行い、新たにReFa FINE BUBBLE Sの販売を開始したことにより売上は堅調に推移いたしました。また、店舗運営及び接客の質を改善するとともに、衛生商品の拡販による販売品目の増加を図り、継続的に顧客満足度の向上に努めております。

#### ④グローバル事業

主な事業内容は、海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,514百万円（前年同期比3.1%減）、経常損失は578百万円（前年同期は684百万円の経常損失）となりました。

中国においては、ReFa BEAUTECH DRYER、ReFa BEAUTECH IRONのEC販売強化を継続するとともに、プロフェッショナル市場での販売も強化いたしました。また、Styleブランドの販売も好調に推移しております。HYGIENEブランド商品e-3Xについても本格展開を開始し、海外の最重点市場として成長を目指してまいります。

米国においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が継続する中、店舗販売にかわり、EC販売が引き続き堅調に推移しております。

欧州においては、SIXPAD Foot Fitのテレビホームショッピングを開始し、初回放送において完売する等、立ち上がりにおいて堅調に推移いたしました。

台湾においては、ReFaブランドの新商品ReFa BEAUTECH DRYERのプロフェッショナル市場への展開を強化いたしました。

#### ⑤スマートリング事業

主な事業内容は、ショッピングや飲食時の決済を可能とする、非接触式のスマートリング（近距離無線通信を搭載した指輪）の製造販売を行うIoT事業となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は17百万円（前年同期比25.7%減）、経常損失は399百万円（前年同期は512百万円の経常損失）となりました。

#### ⑥スポーツジム事業

主な事業内容は、SIXPAD STATION事業及びSIXPAD HOME GYM事業となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は588百万円（前年同期比302.0%増）、経常損失は657百万円（前年同期は279百万円の経常損失）となりました。

SIXPAD HOME GYM事業においては、WEBサイト、家電量販店、専門店、百貨店のほかショッピングモールやスポーツジムでのイベント販売等、それぞれのチャンネルで引き続き販売強化に注力いたしました。外出自粛、全国主要都市における緊急事態宣言等が発令される中、対面販売以外にも店舗スタッフがWEB顧客の問い合わせに回答するオンラインカウンセリングをスタートし、販売台数及び会員数の増加に寄与いたしました。

また、2021年2月よりパートナーシップを締結している日本最高齢フィットネス・インストラクターの“タキミカさん”こと瀧島未香氏（90歳）とのコラボレッスンの配信を行う等幅広い層へのトレーニングプログラムの提供を開始いたしました。

#### ⑦その他事業

主な事業内容は、EV事業及び中古自動車販売事業となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,181百万円（前年同期比136.1%増）、経常利益は224百万円（前年同期は10百万円の経常損失）となりました。

これらのセグメントで取り扱っている主なブランド及び商品は、次のとおりであります。

#### <HEALTH>

(SIXPADブランド)

2021年6月14日より、次世代型EMSスーツSIXPAD Powersuit Lite Abs、及びSIXPAD Powersuit Lite Hip&Legの販売を開始いたしました。従来のEMS製品とは異なり、ジェルシートを使わずにEMSトレーニングが可能であり、ジェルシートを継続購入するコストと貼りかえる手間を解消するだけでなく、着用したままスクワット等の筋肉トレーニングやランニング<sup>\*\*1</sup>等の有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行える商品として発売より好評を頂いております。また、ボクシング世界王者、井上尚弥選手の出演する同商品のTVCMを、同氏の世界防衛戦の放映日に合わせ

放映し、発売時の認知拡大に努めました。SIXPAD Powersuit Liteの発売と同時に昨年11月にローンチしたEMSオンラインジムSIXPAD HOME GYMと連携したLite Plan<sup>※2</sup>もスタートし、「痩せたい」「筋肉をつけたい」といったニーズに応えるコンテンツの提供を開始するとともに、本商品がサービス対象第一弾商品となる新しい購入プランMTG LIFEPLAN<sup>※3</sup>をローンチいたしました。MTG LIFEPLANにより月々定額・下取りサービス・きちんと保証を併せて提供することで、従来のEMS商品からの買い替え促進と新規顧客の拡大に努めてまいります。

SIXPADブランドのHealth care/Medical領域においては、SIXPAD Foot Fit Liteが、「母の日」「父の日」のプレゼント需要で大きく売上を伸ばすことができました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期化の影響による自宅トレーニングニーズと健康志向が高まる中、TV、新聞、WEBを中心にプロモーションを実施した結果、美容誌「MAQUIA」8月号でベストコスメ2021 上半期「ビューティギア部門」1位を獲得いたしました。またほかの美容メディアでも複数アワードを受賞し、従来の購買の中心となっていたシニアの方々だけでなく、その子ども世代、主婦やビジネスパーソンという新たな顧客層の開拓にも寄与いたしました。2021年4月、平均年齢90歳前後の介護認定を受けている虚弱高齢者への応用研究として、当社独自のEMS技術を搭載した骨格筋電気刺激装置を活用し、虚弱高齢者に対する筋肉量やバランス機能の維持・向上に関して骨格筋電気刺激装置の介入は有効であることを発表し、国際的なジャーナル誌「Brain Sciences」に掲載されました。

※1：「SIXPAD Powersuit Lite Abs」のみ。

※2：「SIXPAD Powersuit Lite Abs」又は「SIXPAD Powersuit Lite Hip&Leg」をご購入の上、月額980円（税込）からオンラインでご利用頂けます。アプリの月額使用料で、商品購入金額は含まれておりません。

※3：月々数百円からのお求めやすい定額料でMTGブランドの最新商品をご購入頂ける『月々定額』、常に最新の商品を買換利用しやすくする『下取りサービス』、ずっと安心して商品をご利用頂くための『きちんと保証』の3つのサービスからなる新しい購入プラン。

#### (Styleブランド)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により企業における在宅勤務の導入が進む中、自宅での快適なデスクワークニーズの高まりを受け、TVや雑誌等のメディアからの問い合わせが増加いたしました。また中国でもLIVE配信を活用した通販が引き続き好調に推移いたしました。

#### (NEWPEACEブランド)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、全国主要都市の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令によって引き続き対面での接客販売は厳しい状況が継続する中、在宅勤務等慣れない環境でのデスクワークによって起こる目や頭の疲労をリラクゼーションする新たな商品NEWPEACE Motion Eye、NEWPEACE Motion Headを発売いたしました。

また睡眠の質の向上と日中の活気活力低下の抑制を謳うことのできる機能性表示食品NEWPEACE Good Night & Good Dayを発売し、睡眠のトータルソリューションブランドとしてラインナップを拡充いたしました。

#### <BEAUTY>

##### (ReFaブランド)

2021年4月15日より、頭皮の気になるニオイやベタつきを軽減し、すっきりとすこやかな頭皮へ導くReFa ION CARE BRUSHをReFa取り扱いサロンにて販売開始いたしました。また、2021年6月30日、ヘアカテゴリーのさらなる拡充として2021年10月より全国美容室サロンにて発売となるポータブルヘアアイロンReFa BEUTECH FINGER IRONの発表を行い、発売に先がけ美容室サロンへの営業を開始いたしました。

プロモーション活動においては、2021年4月16日から2021年5月10日、2021年5月29日から2021年6月20日の期間において、東京・名古屋・大阪・福岡のエリアでReFa FINE BUBBLE SのTVCMを放映し、大好評のファインバブルシャワーのさらなる認知拡大と各市場での販売促進に努めました。また、2021年3月19日から2021年5月31日まで、ReFa卒業応援キャンペーンをオンラインショップにて展開し、若年層ターゲットの取り込みを行いました。2021年4月16日から2021年5月9日は各市場にて母の日キャンペーンを展開し、母と娘の記念日をコンセプトにした新企画を展開し、新たな形の販売促進にも積極的に取り組んでまいりました。

##### (ON&DOブランド)

2021年6月23日より、年に1回しか摘むことができない椿若葉を使用した数量限定生産として、夏の気温変化が肌に与えるダメージに着目し、うるおいを与えてすこやかに整えるミスト化粧水REFRESHING MISTをオンラインショップや阪急梅田、JR名古屋高島屋、Beauty Connection Ginzaの店舗において発売いたしました。また、しっとりなめらかな肌触りで肌からうるおいを奪わない椿油マスクSKIN-LIKE MASKも同日に販売開始し、ブランドラインナップを拡充いたしました。百貨店においては、2021年5月19日からJR名古屋高島屋においてナチュラルビューティスタイル展に出展し、ブランドの認知拡大及び販売促進に努めました。

## （五島の椿ブランド）

TVホームショッピングでの販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、WEBを中心とした販売においてもリピート顧客による継続購入が堅調に推移いたしました。五島の椿株式会社の事業活動への関心が商品購入の導線になるケースが増えていることから、今後も事業活動の積極的な発信に努めてまいります。

## &lt;HYGIENE&gt;

## （@LIFEブランド）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が長期化する一方、シニア層からワクチン接種が進んでいることを受け、HYGIENEブランドにおいてはアフターコロナを見据え、ブランドのコアテクノロジーであるEOCIS技術において新たに汗・体臭等のイソ吉草酸、生ごみやトイレ臭等のアンモニアの2種に対する消臭効果を実証いたしました。さらにお風呂やキッチン等水回りに発生しやすい黒カビの発生を抑制する防カビ効果も併せて実証いたしました。また、外部試験によりEOCIS技術によって生成された除菌液が食中毒を引き起こす大腸菌を除去する様子を映像として記録することに成功し、多くのメディアにて取り上げられる等、アフターコロナの市場に向けEOCIS技術の有用性の訴求に努めました。

さらに海外における実証も行い、中国現地の水道水を使用した除菌試験によって、99%以上の除菌効果を実証いたしました。今後もさらなる効能効果を実証しながら、国内・海外への認知、及び拡販に繋げてまいります。

## （ドゥキレイブランド）

業務用非接触型ディスペンサー用の詰め替え消毒ジェルの販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が長期化し、衛生商品市場において飽和状態にある手指消毒ジェルの販売に一服感が出る中、オリンピックに関連する需要が生まれており、衛生関連商品マーケットに一定の商品供給を行うことができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,734百万円（前年同期比27.5%増）となりました。また、営業利益は3,675百万円（前年同期は営業損失940百万円）、経常利益は4,079百万円（前年同期は経常損失625百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,754百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益210百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては44,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,688百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加1,932百万円、商品及び製品の増加1,148百万円及び前払費用の減少676百万円によるものであります。

## （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては7,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,017百万円減少しました。これは主に未払金の減少907百万円及び未払法人税等の減少263百万円によるものであります。

## （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては37,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,705百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3,754百万円による利益剰余金の増加によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2021年8月10日）公表の「通期業績予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

|             | 前連結会計年度<br>(2020年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2021年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                         |                              |
| 流動資産        |                         |                              |
| 現金及び預金      | 13,470                  | 15,402                       |
| 受取手形及び売掛金   | 3,908                   | 4,088                        |
| 商品及び製品      | 7,000                   | 8,149                        |
| 原材料及び貯蔵品    | 1,896                   | 1,891                        |
| 前払費用        | 1,189                   | 512                          |
| その他         | 1,829                   | 1,446                        |
| 貸倒引当金       | △1                      | △7                           |
| 流動資産合計      | 29,292                  | 31,483                       |
| 固定資産        |                         |                              |
| 有形固定資産      |                         |                              |
| 建物及び構築物(純額) | 277                     | 468                          |
| 土地          | 8,893                   | 8,893                        |
| その他(純額)     | 670                     | 442                          |
| 有形固定資産合計    | 9,841                   | 9,804                        |
| 無形固定資産      |                         |                              |
|             | 225                     | 318                          |
| 投資その他の資産    |                         |                              |
| 投資有価証券      | 1,656                   | 2,075                        |
| 繰延税金資産      | 21                      | 37                           |
| その他         | 609                     | 615                          |
| 貸倒引当金       | △25                     | △25                          |
| 投資その他の資産合計  | 2,263                   | 2,703                        |
| 固定資産合計      | 12,329                  | 12,827                       |
| 資産合計        | 41,622                  | 44,311                       |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2020年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 1,428                   | 1,444                        |
| 短期借入金         | —                       | 49                           |
| 未払金           | 2,409                   | 1,501                        |
| 未払法人税等        | 548                     | 284                          |
| 賞与引当金         | 427                     | 231                          |
| 返品調整引当金       | 435                     | 598                          |
| その他の引当金       | 213                     | 172                          |
| その他           | 2,101                   | 2,155                        |
| 流動負債合計        | 7,564                   | 6,437                        |
| 固定負債          |                         |                              |
| その他           | 589                     | 698                          |
| 固定負債合計        | 589                     | 698                          |
| 負債合計          | 8,153                   | 7,136                        |
| 純資産の部         |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 16,610                  | 16,614                       |
| 資本剰余金         | 23,193                  | 15,417                       |
| 利益剰余金         | △6,551                  | 5,021                        |
| 自己株式          | △0                      | △189                         |
| 株主資本合計        | 33,252                  | 36,864                       |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | 46                      | 278                          |
| 為替換算調整勘定      | 34                      | △100                         |
| その他の包括利益累計額合計 | 81                      | 177                          |
| 新株予約権         | 4                       | 3                            |
| 非支配株主持分       | 129                     | 129                          |
| 純資産合計         | 33,469                  | 37,174                       |
| 負債純資産合計       | 41,622                  | 44,311                       |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2019年10月1日<br>至 2020年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2020年10月1日<br>至 2021年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高                 | 24,893   | 31,734   |
| 売上原価                | 8,236  | 8,997  |
| 売上総利益               | 16,657   | 22,736   |
| 返品調整引当金戻入額          | 561  | 435  |
| 返品調整引当金繰入額          | 427  | 598  |
| 差引売上総利益             | 16,791   | 22,573   |
| 販売費及び一般管理費          | 17,731   | 18,898   |
| 営業利益又は営業損失(△)       | △940   | 3,675  |
| 営業外収益               |  |  |
| 受取利息及び配当金           | 11   | 11   |
| 為替差益                | 46   | 352  |
| 受取地代家賃              | 16   | —  |
| 前受金取崩益              | 114  | —  |
| 受取損害賠償金             | 27   | 11   |
| その他                 | 143  | 74   |
| 営業外収益合計             | 359  | 449  |
| 営業外費用               |  |  |
| 支払利息                | 0  | 0  |
| コミットメントフィー          | 5  | 30   |
| 固定資産除却損             | 31   | 8  |
| その他                 | 7  | 5  |
| 営業外費用合計             | 45   | 45   |
| 経常利益又は経常損失(△)       | △625   | 4,079  |
| 特別利益                |  |  |
| 関係会社株式売却益           | 1,174  | —  |
| 受取損害賠償金             | —  | 158  |
| 新株予約権戻入益            | —  | 1  |
| 特別利益合計              | 1,174  | 159  |
| 特別損失                |  |  |
| 投資有価証券評価損           | 66   | —  |
| 店舗撤退損失              | 23   | —  |
| 事業構造改善費用            | 64   | —  |
| 特別損失合計              | 154  | —  |
| 税金等調整前四半期純利益        | 394  | 4,239  |
| 法人税等                | 284  | 507  |
| 四半期純利益              | 109  | 3,731  |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △101   | △22  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益    | 210  | 3,754  |

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                 | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2019年10月1日<br>至 2020年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2020年10月1日<br>至 2021年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益          | 109  | 3,731  |
| その他の包括利益        |  |  |
| その他有価証券評価差額金    | △40  | 231  |
| 為替換算調整勘定        | 287  | △135   |
| その他の包括利益合計      | 247  | 96   |
| 四半期包括利益         | 356  | 3,827  |
| (内訳)            |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 458  | 3,850  |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △101   | △22  |

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月25日開催の第25回定時株主総会において、資本準備金及び利益準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、2021年2月9日付でその効力が発生しております。

## (1) 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を補填し財務体質の健全化を図ること、また、今後の資本政策上の柔軟性及び機動性を確保することを目的としております。

## (2) 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金及び利益準備金の額を減少し、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えました。

## ①減少する準備金の項目及び額

資本準備金：16,510,471,964円のうち、7,818,932,114円

利益準備金：8,069,185円の全額

## ②増加する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金：7,818,932,114円

繰越利益剰余金：8,069,185円

## (3) 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部並びに別途積立金及び特別償却準備金の全額を繰越利益剰余金に振り替えて繰越利益剰余金の欠損を補填しました。

## ①減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金：7,818,932,114円

別途積立金：920,000,000円

特別償却準備金：17,380,626円

## ②増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金：8,756,312,740円

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(会計上の見積りの変更)

当社は、たな卸資産の評価基準について、将来の販売見込みに基づく一定の滞留期間を超える場合には原則として一定の率に基づき規則的に帳簿価額を切り下げた価額をもって貸借対照表価額としておりましたが、直近の当社のたな卸資産の保有状況、販売実績状況等に鑑み、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、第1四半期連結会計期間より、滞留期間の見積方法について変更することとしました。

この結果、変更前の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上原価が1,086百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,086百万円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に変更しております。

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                           | 報告セグメント                    |                         |                   |             |                     |                   |              |                    |        | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連<br>結損益計<br>算書計上<br>額<br>(注) 3 |
|---------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------|-------------|---------------------|-------------------|--------------|--------------------|--------|--------------|------------------------------------|
|                           | ダイレク<br>トマーケ<br>ティング<br>事業 | プロフ<br>ェッシ<br>ョナル<br>事業 | リテー<br>ルスト<br>ア事業 | グローバ<br>ル事業 | ウオータ<br>ーサーバ<br>ー事業 | スマート<br>リング事<br>業 | スポーツ<br>ジム事業 | その他事<br>業<br>(注) 1 | 計      |              |                                    |
| 売上高                       |                            |                         |                   |             |                     |                   |              |                    |        |              |                                    |
| 外部顧客への<br>売上高             | 10,420                     | 5,262                   | 5,449             | 2,595       | 495                 | 23                | 146          | 500                | 24,893 | —            | 24,893                             |
| セグメント間<br>の内部売上高<br>又は振替高 | —                          | —                       | —                 | —           | —                   | —                 | —            | —                  | —      | —            | —                                  |
| 計                         | 10,420                     | 5,262                   | 5,449             | 2,595       | 495                 | 23                | 146          | 500                | 24,893 | —            | 24,893                             |
| セグメント利益<br>又は損失(△)        | 2,932                      | 648                     | △436              | △684        | △61                 | △512              | △279         | △10                | 1,596  | △2,221       | △625                               |

(注) 1. 「その他事業」は、EV事業及び中古自動車販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,221百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,221百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                           | 報告セグメント                            |                                 |                       |                     |                           |                          |                        |        | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連<br>結損益計<br>算書計上<br>額<br>(注) 3 |
|---------------------------|------------------------------------|---------------------------------|-----------------------|---------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|--------|--------------|------------------------------------|
|                           | ダイレ<br>クトマ<br>ーケ<br>ティ<br>ング<br>事業 | プロ<br>フェ<br>ッシ<br>ョナ<br>ル<br>事業 | リテ<br>ール<br>ストア<br>事業 | グロ<br>ーバ<br>ル<br>事業 | スマ<br>ート<br>リン<br>グ<br>事業 | スポ<br>ーツ<br>ジ<br>ム<br>事業 | その<br>他事<br>業<br>(注) 1 | 計      |              |                                    |
| 売上高                       |                                    |                                 |                       |                     |                           |                          |                        |        |              |                                    |
| 外部顧客への<br>売上高             | 14,014                             | 6,795                           | 6,622                 | 2,514               | 17                        | 588                      | 1,181                  | 31,734 | —            | 31,734                             |
| セグメント間<br>の内部売上高<br>又は振替高 | —                                  | —                               | —                     | —                   | —                         | —                        | —                      | —      | —            | —                                  |
| 計                         | 14,014                             | 6,795                           | 6,622                 | 2,514               | 17                        | 588                      | 1,181                  | 31,734 | —            | 31,734                             |
| セグメント利益<br>又は損失(△)        | 4,728                              | 1,544                           | 969                   | △578                | △399                      | △657                     | 224                    | 5,830  | △1,750       | 4,079                              |

(注) 1. 「その他事業」は、EV事業及び中古自動車販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,750百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,750百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社Kira1a及び株式会社サカモトクリエイトの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、「ウォーターサーバー事業」から撤退したことから、第1四半期連結会計期間より「ウォーターサーバー事業」セグメントを廃止しております。

また、当社は、第1四半期連結会計期間より、「その他事業」に含まれていた「スポーツジム事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。